



2019. 10. 6 香川県立五色台少年自然センター（香川県高松市生島町 423）で撮影

むかご ヤマノイモの珠芽 (ヤマノイモ科ヤマノイモ属)

ヤマノイモは、つる性の^{たねんそう}多年草で、日本全国の野山によく見られます。葉は細長いハート型で、9月～10月ごろ、茎の一部が丸くなり1cmほどの芋のようなものをつけます。これを^{むかご}珠芽といいます。珠芽は、ある^{ていど}程度の大きさになると地面に落ちて、次の年の春になると新しい芽を出します。ヤマノイモは種もつけます。種は軽い^{ようぶん}ため、風を利用して遠くに飛んでいくことができますが、^{はつがりつ}養分が少ないため珠芽よりも^{はつがりつ}発芽率が低いようです。

ヤマノイモの珠芽は、食べることができ、山芋のよう^{ねば}に^け粘り気があります。

※発芽率＝芽が出る確率